

三木町百眼百考会議
第3回仲間づくり部会会議 議事概要

記

- 1 日 時 平成23年7月20日(水曜日)
開 会 午後7時00分 閉 会 午後9時35分
- 2 場 所 三木町役場 101 会議室
- 3 出席者(委員) 市原信夫 岡本由美子 穴吹和子 安元孝義
多田恵美子 矢野正高 吉岡満
(事務局) 宮井夕貴子 漆原翔平 松本裕司
- 4 議 事
 - ① 連合自治会の結成方法及び具体的な活動内容について
 - ② 次回の会議日程及び協議事項について
- 5 配布資料
 - ・ 自治会の目指す方向性について(矢野正高氏作成)
 - ・ 100の指標からみた香川「平成23年版」(吉岡満氏配布)
- 6 会議経過
 - ・ 前回の議論のまとめ
 - ・ 県下他市町の連合自治会の実態報告(事務局説明)
 - ・ 自治会が連合することに伴うメリット、デメリットについて意見交換
 - メリット：自治会が活性化する。
三木町や連合自治会主催の大きなイベントが開催できる。
自主防災機能が強化できる。
 - デメリット：自治会長の負担が増加する。
 - ・ 自治会の連合へ向けての具体的な活動内容について意見交換
 - 自治会の現状把握が先決である。
 - 自治会未加入者への加入を促進する。
 - 防災連絡網を整備し、安否確認ができる体制を整備する。
 - 芸術家を招致し、地域の子どもたちに披露する。
 - 獅子舞フェスタ、芸術祭、炊き出し大会などのイベントを開催する。
 - ・ まちづくり構想について意見交換
 - スムーズに進めるには、地域ごとに陣頭指揮を取れるリーダーと、コミュニテイ専門の町職員や課が必要。コミュニティの公的活動例は防災訓練や美化活動、交流活動例はイベントが考えられる。行政をコーディネーターとして置くことで大きなイベントができる。

来年の3月11日に防災訓練をしてみて、今の防災体制がどの程度不十分なものか認識する。しかし、実際は避難場所が家の近所に確保されていないところもあるので訓練のしようがないというのが問題点。

- 連合自治会の結成方法について意見交換

自主防災組織を基盤に結成する。

小学校区単位ごとに「まちづくり協議会」を置き、その代表で「まちづくり協議会連合会」を結成する。「まちづくり協議会連合会」は、行政と「まちづくり協議会」の橋渡しの役目を担う。

- 次回開催日時及び協議事項の決定

日 時：平成23年8月3日（水）午後7時から

場 所：三木町役場 101 会議室

協議事項：理想的な連合自治会のイメージについて～防災対策と高齢者対策～

※ 町から防災担当と高齢者担当を招いて、現状と課題を聞く。